



9月23日は「手話の日」

手話は「手と表情で話し、目で聞く」言語です

こんにちは!



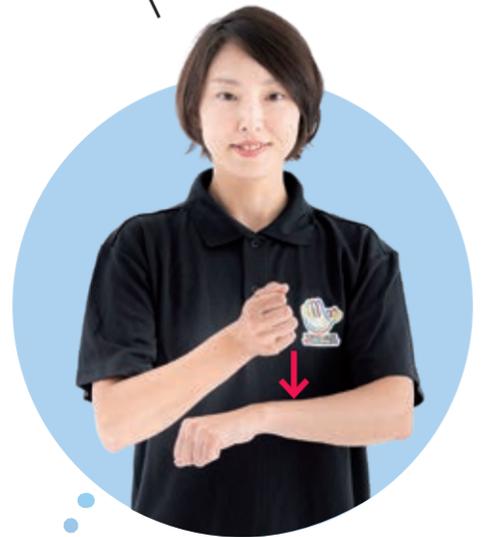
『手話に関する施策の推進に関する法律』が令和7年6月25日に施行され、毎年9月23日は「手話の日」と定められました。手話を通じたコミュニケーションについて、改めて考えてみませんか。

障害がい者支援課 ☎0422-29-9232

手話

ありがとう

お疲れさまです



同じ方向に半回転違いに回します



右手を垂直に上げます



右手の拳で左腕を軽く2回たたきます



上記の言葉は、市民の皆さんに覚えてもらいたい手話として、三鷹市聴覚障がい者協会の方に選んでいただきました。

市長コラム

デフリンピックをきっかけに!



三鷹市長 河村 孝

あるイベントで、聴覚障がいのある方々のブースを訪れた時のことです。そこでヘッドホンを渡されたので装着してみると、それまで談笑していた周囲の音が急に聞こえなくなり、心細くなったことを覚えています。そのとき、改めて「ことば」でお互いに結ばれていることの大切さを感じました。手話は、障がいの有無に関わらず、人と人の心を互いにつなぐ「共通語」です。三鷹市でも、手話通訳者の派遣や講習会

を開催し、市民団体の皆さんと協力してその普及に努めています。

手話をマスターするのは簡単ではありません。でも、上の三つの言葉なら、この私でも何とか覚えられそうです。11月に東京で開催されるデフリンピックでは、「ふるさと三鷹応援団」の狩野美雪さんが、デフバレーボール女子日本代表の監督を務めています。皆さんも手話で応援の輪に加わり、一緒に盛り上がりましょう。

YouTubeで配信中

